

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
2021年度事業計画

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）は日本アメリカンフットボール協会（Jafa）にとって公益社団法人としての第9期となる。協会運営体制を整備し、定款・規則・規程に則った協会運営を進めて行く。

1) 日本スポーツ協会公認指導者養成事業

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）が主催する公認スポーツ指導者養成事業の一つとして、日本スポーツ協会からの委託に基づいてアメリカンフットボール競技に関する公認コーチ資格の専門科目講習会を開催する。

公認指導者養成講座の専門科目のためのテキストとして、一昨年度は「ショルダータックリング」と「ヘッズアップ・ブロッキング」、「ドリルブック（1）」を発行し、昨年度は「ドリルブック（2）」を発行した。今年度は「からだづくりハンドブック」を発行し、指導者向けのテキストを充実して行く。

更新時期を迎える公認コーチ資格保有者に対する特別講習を計画的に開催するとともに、資格保有者に対して特別講習の受講を促す。

2) コーチクリニック、フットボール教室

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、コーチクリニック、フットボール教室を開催する。

重大事故の未然防止等、選手の安全を守る観点から、ユースならびに高校生、あるいは大学入学後に初めてフットボールを始める選手たちを対象にした研修を行う。

公認指導者養成講座専門課程のテキストである「ショルダータックリング」ならびに「ヘッズアップ・ブロッキング」を活用した研修や、Jafa が監修、発行する「からだづくりハンドブック」を活用し、からだづくりプログラムも並行して進めていく。

加盟団体からの要請に基づき「Jafa フットボールアカデミーキャンプ」を実施する。開催予定は以下のとおりである。

- ・2021年5月：フレッシュマンクリニック（関西学生連盟）
- ・2021年5月：ヘッズアップアカデミー（東北学生連盟）※5/23（日）シエルコム仙台
- ・2021年7月：ヘッズアップアカデミー（北海道学生連盟）
- ・2022年3月：ヘッズアップアカデミー（北陸学生連盟）
- ・2022年3月：ヘッズアップアカデミー（東海学生連盟）
- ・2022年3月：ヘッズアップアカデミー（九州学生連盟）
- ・2022年3月：ヘッズアップアカデミー（中四国学生連盟）

また、ガバナンス強化の一環として、Jafa が監修、発行する「(仮) フェアプレイハンドブック

ク」を活用し、フェアプレイ講習会を加盟団体登録指導者向けに開催する。

※「JFA フットボールアカデミー」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

3) 川崎市のまちづくり推進とアメリカンフットボールの普及活動

定款第5条第1項第1号及び第11号に関連する事業として、2007年に締結した川崎市との協定に基づき、川崎市の「アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進連絡調整会議」に参加し、アメリカンフットボールを活用した川崎市のまちづくりと、川崎市におけるアメリカンフットボールの普及発展に努める。

2015年4月からアメリカンフットボール準専用スタジアムとして運用開始された川崎富士見公園内の「富士通スタジアム川崎」を活用し、アメリカンフットボール関連競技団体及び指定管理者との協力体制のもと、「富士通スタジアム川崎」で開催するアメリカンフットボールの試合に多くの観客を集めるとともに、川崎市商工会議所や川崎駅広域商店街連合会の協力を得て、アメリカンフットボール（フラッグフットボール含む）の市民スポーツとしての定着を図る。

※川崎市民にアメリカンフットボールを知ってもらうための普及・PR活動は川崎市からの助成を受けて実施します。

4) 国際競技力向上に向けた事業

定款第5条第1項第2号に関連する事業として、各世代の有力選手を集め、技術力向上を目指しクリニックを開催する。その中から、それぞれの世代で日本代表候補選手を選出し、国際大会へ向けたチーム作りに取り組む。

① インターナショナルボウル2022（世代：18歳以下）

2022年1月にアメリカ合衆国テキサス州で開催されるインターナショナルボウルに、高校3年生を主体としたU-18日本選抜チームを派遣し、アメリカの熟練コーチの指導による強化キャンプを経て、同年代のアメリカ選抜チームと試合を行う。アメリカチームとの試合を体験させることにより国際競技力の向上を図るものである。

また、強化キャンプ及びインターナショナルボウルには通訳コーチに加えて高校指導者を派遣しアメリカの熟練コーチから指導方法を習得する機会とする。

- ・2021年 7月24日：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・2021年 7月27日：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・2021年11月28日：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・2021年11月29日：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・2022年1月中旬：アメリカ遠征

5日間の強化キャンプの後、インターナショナルボウルに出場してアメリカ選抜と試合を行う。

② カンクンボウル2022（フラッグフットボール男子17歳以下）

2022年3月にメキシコ・カンクンで開催されるフラッグフットボールの国際イベント「カンクンボウル2022」に、U17世代の日本選抜チームを派遣し、若い世代から国際試合の経験を積むことで、2028ロス五輪へのフラッグフットボール招待種目追加に備えた選手層の底辺拡大、強化を行うものである。

- ・2022年1月22日～23日：カンクンボウルU17日本選抜強化練習（関東地区）
- ・2022年 2月19日～20日：カンクンボウルU17日本選抜強化練習（関東地区）
- ・2022年 3月19日～20日：カンクンボウルU17日本選抜強化練習（関東地区）
- ・2022年 3月下旬：メキシコ遠征

※「国際競技力向上に向けた取り組み」①②は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

③ フラッグフットボール日本代表選抜および全国合同練習

2021年10月にスペイン、パルマ・デ・マヨルカで開催される「第10回フラッグフットボール世界選手権」に参加する日本代表の候補選手選抜、および全国合同練習を実施し、フラッグフットボールの国際競技力の向上を図るものである。

- ・2021年 4月24日～25日：代表候補、全国合同練習（関東地区）
- ・2021年 5月22日～23日：代表候補、全国合同練習（関東地区）
- ・2021年 6月19日～20日：代表候補、全国合同練習（関東地区）
- ・2021年 7月17日～18日：代表強化練習（関東地区）
- ・2021年 8月14日～15日：代表強化練習（関東地区）
- ・2021年 9月11日～12日：代表強化練習（関東地区）
- ・2021年10月 1日～ 2日：代表強化練習（関東地区）

3回の代表選考を経て日本代表を選抜し、強化練習を経て世界選手権に出場する。

5) アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」の開催

定款第5条第1項3号に関連する事業として、アメリカンフットボール日本選手権「第75回ライスボウル」を主催する。アメリカンフットボールファンのみならず、競技で随一の知名度を誇るボウルゲームとして、今後とも多くのお客様に楽しんでもらえる日本選手権として定着させていく。

また、フラッグフットボール日本選手権、および地区大会を主催する

6) 高校アメリカンフットボール連盟及びユース・フットボール競技総括団体の主催試合等の後援・助成

定款第5条第1項第3号に関連する事業として、高校アメリカンフットボール連盟やユース・フットボール競技総括団体が主催等する試合（日本選手権、選抜チーム対抗戦など）を後援する。

高校アメリカンフットボール連盟に対しては、2020年度に引き続きクリスマスボウル（全国高等学校アメリカンフットボール選手権）と、ニューイヤーボウル（関西地区選抜・関東地区選抜対抗戦）の後援・助成を行う。ユース・フットボール競技総括団体に対しては、情報共有を図りながら、幅広く活動を支援する。

7) 国際試合の主催・後援

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、以下の国際試合を後援する。

・第9回 TOMODACHI BOWL

対戦：米軍基地内ハイスクール代表チーム vs U-19 日本選抜チーム（関東主体）

主催：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

主管：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

後援：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

日程：2022年3月

会場：未定

8) 国際試合へのチーム派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）等が主催する国際試合に日本代表チームを派遣する。

2020年度には、3つの国際大会が予定されていたが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で大会が中止、延期されることになった。2021年度は下記の国際大会が予定されている。

・第10回フラッグフットボール世界選手権（IFAF 主催）

日程：2021年10月6日～10日

会場：スペイン パルマ・デ・マヨルカ

9) 国際試合への審判員派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、IFAFが主催する国際試合に審判員を派遣する。2021年度は、2021年10月にスペイン、パルマ・デ・マヨルカで開催される「第10回フラグフットボール世界選手権」に2名の審判員派遣を行う

10) 競技規則の制定・告知・頒布

定款第5条第1項第5号に関連する事業として、競技規則委員会（2021年3月開催）の決定に基づき、アメリカンフットボール競技の2021年度公式規則について、2020年度公式規則からの変更内容を決定し、4月発行予定の2021年度・公式規則変更予定報および7月発行予定の2021年度・公式規則変更内容・決定報を通じて、加盟団体に周知する。

11) 安全対策に関する周知活動及び医科学研究会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、フットボールシーズン終了後（2021年2月）に安全対策全国会議、医科学研究会を開催するとともに、安全対策の普及を図る。

①安全対策全国会議の開催

日本協会、加盟団体の安全対策担当者が一堂に会して、重大事故や試合時外傷の発生状況について情報を共有し、安全対策を討議する。

②医科学研究会の開催

アメリカンフットボールに密接に関連する医科学分野の医師、トレーナー、指導者が一堂に会して、当該年度に発生した重大事故、医科学分野における新たな知見等の情報を持ち寄って、選手の安全確保のための情報共有、意見交換を行う。

③安全対策ハンドブックの改訂

2018年に作成した安全対策ハンドブックの一部を修正し、ホームページで公表する。

12) ドーピング検査

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、(一財)日本スポーツフェアネス機構の指定により三大ボウルゲーム（甲子園ボウル、ジャパンエックスボウル、ライスボウル）においてドーピング検査を実施する。ドーピング検査は、専門機関である日本アンチ・ドーピング機構が行う。

※「ドーピング検査」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施する。

13) アンチ・ドーピング講習会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、アンチ・ドーピング講習会を開催する。多く

の指導者、選手はアンチ・ドーピングの主旨は理解しているものの、禁止薬物に関する知識、持病等で処方を受けている薬物の事前申請（TUE）、居場所情報提出などの手続きなどについて十分な知識を有しているとは言い難く、2021年10月～11月にかけてアンチ・ドーピング講習会を開催する。

14) 受講者推薦（日本スポーツ協会公認スポーツドクター及びアスレティックトレーナー養成講座）

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、日本スポーツ協会が主催するスポーツドクター養成講座、及びアスレティックトレーナー養成講座の受講生を推薦する。安全対策委員会、医科学部会が、受講希望者の中から日本スポーツ協会の受講者選考基準に適合するものを選考して推薦する。

15) アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進

定款第5条第1項第7号に関連する事業として、あらゆる機会をとらえて、国、地方自治体その他の競技場または競技場用地所有者に対して、アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進を働き掛ける。

川崎市、川崎富士見公園内にはアメリカンフットボール準専用スタジアム「富士通スタジアム川崎」があり、周辺に緑を配置したスポーツ活動の拠点となる空間を整備する計画がある。

2021年度には照明塔の改修工事が予定されており、川崎市と連携しながら改修工事に協力をしていく。

16) CFO 会議への派遣・参加

定款第5条第1項第5号及び第8号に関連する事業として、全米大学体育協会（NCAA：National Collegiate Athletic Association）の公式規則変更、公式規則適用の状況に正確にかつ迅速に把握するために、米国 CFO（College Football Officiating LLC）が主催するフットボール・コーディネーター・ミーティングに競技規則委員や審判を派遣する。

・派遣時期 フットボール・コーディネーター・ミーティング：2022年1月

また、上記に関連し今年度はナショナル・レフェリー・カンファレンス、及びナショナル・インスタントリプレー・クリニックにも関係者を派遣する。

・派遣時期 ナショナル・レフェリー・カンファレンス：2021年4月

ナショナル・インスタントリプレー・クリニック：2021年5月

17) WEB サイトによる情報発信

定款第5条第1項第9号に関連する事業として、JAF A 専用 WEB サイトを活用して、JAF A 及びアメリカンフットボールに関する情報を発信する。

JAF A 公式 WEB サイト運用の充実と共に、今年度は殿堂顕彰関連、日本代表などのページをさらに充実させる。本協会の公報としての役目を果たすために WEB サイトを活用した情報公開を実施する。

18) 殿堂顕彰

定款第5条第1項第10号に関連する事業として、日本アメリカンフットボールの殿堂にて第5回までの殿堂顕彰者を紹介するための紹介ページを日本アメリカンフットボール協会 HP の殿堂ページに掲載し、日本のアメリカンフットボールの歴史のページに掲載する。

19) 関係団体・機関との情報交換・連携

定款第5条第1項第11号に関連する事業として、国際アメリカンフットボール連盟 (IFAF)、独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC)、公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)、公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC)、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構 (JSAA)、一般財団法人日本トップリーグ連携機構 (JTL)、一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)、NPO 法人日本ワールドゲームズ協会など関係団体・機関と密に情報交換を行い、連携して活動する。

20) 大規模災害の被災地及び被災者に対する支援

定款第5条第1項第12号に関連する事業として、大規模災害が発生した地域に対して、アメリカンフットボールを通じた復興支援事業を加盟団体と連携して行う。

以上